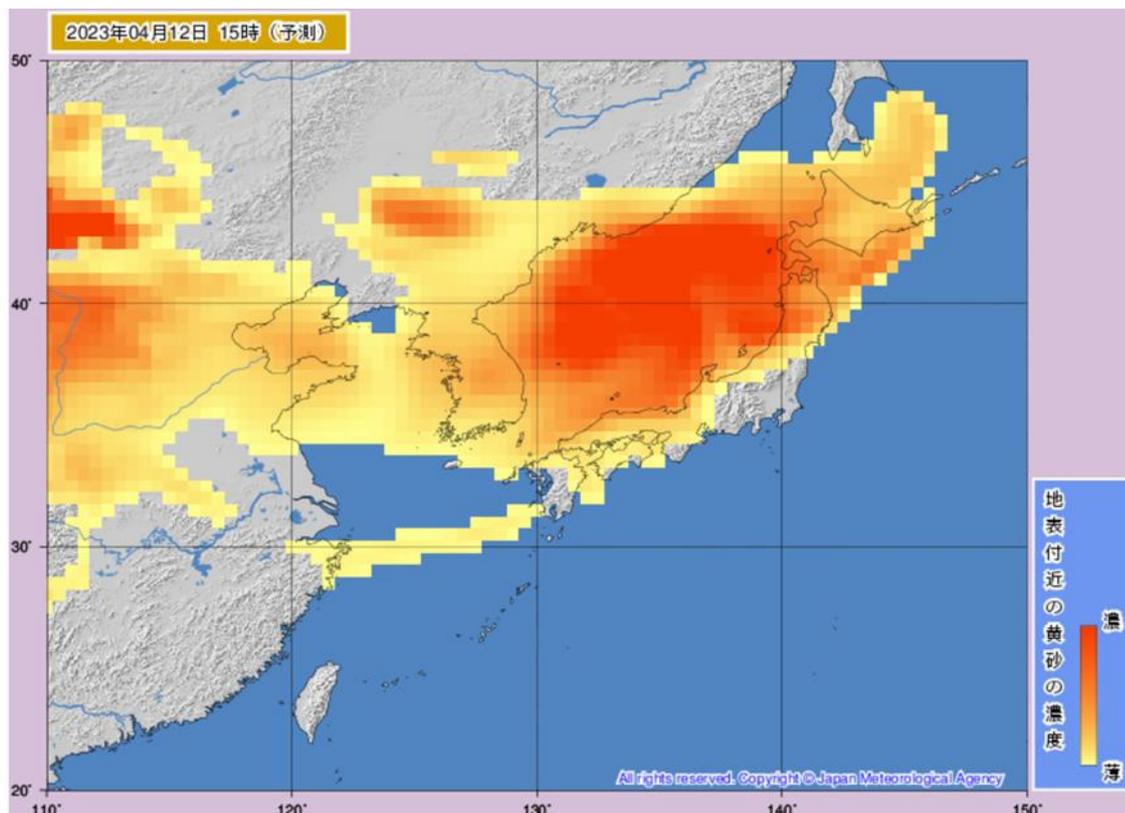


黄砂に対する農作物技術対策

令和5(2023)年4月12日

塩谷南那須農業振興事務所

宇都宮气象台(4/11発表)によると、県内では12日午後から13日にかけて、広い範囲で黄砂が予測されています。農作物の適切な管理に努めましょう。



I 施設園芸

1 共通

- (1) ビニールハウスの被覆資材に黄砂が積もると、光線不足により同化能力が低下し、落花、結実不良、生育不良、商品性低下を生じるため、積もった場合は、ブロワー等による送風や動噴等による高圧散水等により洗い流す。

2 施設野菜

- (1) 施設内に直接風が吹き込まないように、風向きに応じて換気を行う。
- (2) 収穫物の汚れをよく確認し、選別を徹底する。

3 花き

- (1) 換気を行う際には、風向きに注意して天窓やサイドの開閉を行い、ハウス内への黄砂の侵入を防ぐ。

II 果樹

1 なし

- (1) 結実確保を図るため、これから咲く花へ人工受粉を行う。
- (2) 花粉が用意できない場合は、毛ばたきを使って、異品種の花合わせを行うなど、結実の確保に努める。
- (3) 受粉作業が完了し次第、速やかに多目的防災網を展張する。

III 畜産

- (1) 飼料作物や飲水の保管にあたっては、貯蔵施設を密閉したり、シートをかぶせるなどして、できるだけ黄砂が付着・混入しないように工夫する。
- (2) 黄砂による家畜への影響が不明であることから、できるだけ黄砂を落として給与するとともに、付着により嗜好性が低下した場合は、付着していないものと混合して給与する。